**別記第７号様式**（第２０条関係）

遺伝子組換え実験結果報告書

年　　月　　日

奈良教育大学長　殿

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　所　属

　　　　　　　　　　　　　　　　実験責任者　職　名

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　氏　名

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　連絡先（ＴＥＬ）

　奈良教育大学遺伝子組換えDNA実験安全管理規則第２０条に基づき、下記のとおり報告します。

記

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 実験の区分（注１） | 拡散防止措置（注１） | 公的経費（注２） |
|  ・微生物・培養細胞を宿主とする実験　　□未同定ＤＮＡ実験　　□同定済みＤＮＡ実験　　□大量培養実験 ・動物を用いる実験 □作出 □使用 □接種 ・植物を用いる実験 □作出 □使用 □接種 |  □Ｐ１ □ＬＳＣ □Ｐ１Ａ　　　　□Ｐ１Ｐ □Ｐ２ □ＬＳ１ 　□Ｐ２Ａ　　　　□Ｐ２Ｐ □Ｐ３ □ＬＳ２ 　□Ｐ３Ａ　　　　□Ｐ３Ｐ 　　　 □特定飼育区画　□特定網室 □非閉鎖系区画 □屋外隔離区画 □その他屋外の区画 | □有 □科研費 □その他 ( )□無 |

|  |  |
| --- | --- |
| 課　　 　題　 　　名 |  |
| 実験実施期間（注３） | 年　　月　　から　　　　年　　月　　まで |
| 実験場所 | 名　　　　称 |  |
| 実験従事者 | 氏　　　　名 | 所　属　・　職　名 | 宿主及びその取扱い経験年数（注４） | 遺伝子組換え実験経験年数（注５） |
|  |  |  |  |

|  |  |
| --- | --- |
| 　課題名 |  |
| 　実験の目的 |  |
| 　実験の概要 |  |

|  |
| --- |
| 供与体・ベクター・宿主の組み合わせ（注６） |
| ＤＮＡ供与体（注７） | ＤＮＡの種類（注８） | 未同定ＤＮＡ実験に係る単離予定のＤＮＡ（注９） | 同定済みＤＮＡ実験に係る供与ＤＮＡ（注10） | ベクター（注11） | 宿　主（注12） | 拡散防止措置レベル（注13） | 備　考 |
|  |  |  |  |  |  |  |  |

|  |  |
| --- | --- |
| 遺伝子組換え生物等の保存の有無及びその保存方法・処分方法 |  |
| 確認通知に記入された事項（注14） |  |
| 実験の結果（注14） |  |
| その他本実験の安全性評価に関する見解等（注15） |  |

**報告書記入要領**

　本様式の各項目に記入する。記入できない場合は別紙を添付し、該当項目に別紙番号を記入すること。

注１．本計画において該当する項目すべてにチェックを入れること。

注２．公的経費の有無について該当項目にチェックをいれるとともに、ある場合はその種類を記入すること。

注３．実験実施機関を記入すること。

注４．宿主として使用する生物種の取扱い経験の有無並びに経験年数を記入すること。

　　　なお、宿主が微生物、動物、植物にまたがる実験計画の場合は、それぞれについて記入すること。

注５．遺伝子組換え実験経験の有無並びに経験年数を記入すること。

注６．ＤＮＡ供与体、ベクター、宿主の組み合わせ毎に番号、直線、罫線等でまとめ、相互の関連を明らかにすること。

注７．ＤＮＡ供与体となる生物の種名又は系統名を記入すること。

注８．ゲノムＤＮＡ、相補ＤＮＡ、合成ＤＮＡなどの種類を記入すること。

注９．未同定ＤＮＡ実験のときに該当。核酸混合物から単離しようとしたＤＮＡの名称を記入すること。

注10．同定済みＤＮＡ実験のときに該当。使用したＤＮＡの名称を記入すること。

注11．ベクターの名称を記入すること。

注12．宿主の種名又は系統名を記入すること。

注13．組み合わせ毎に拡散防止措置レベルを記入すること。

注14．確認通知において報告事項とされた事項及びその結果を記入すること。

注15．当初の予測と異なる事象の有無、実験従事者の遺伝子組換え実験に由来すると考えられる健康被害の有無など、実験の安全性を評価するに当たって必要な事項を記入すること。